

神奈川県保健医療計画 進捗状況評価調書

＜項目＞

第7章 保健・医療・福祉をつなぐ仕組みづくりの推進

第4節 リハビリテーション

とりまとめ担当課：健康医療局保健医療部医療課

1 課題に対するこれまでの取組実績

(1) リハビリテーション人材の養成及び専門相談の実施	
→	神奈川県リハビリテーション支援センターに委託し、ホームページによる地域リハビリテーションに関する情報の提供、支援センタースタッフによる専門相談、かながわ地域リハビリテーション・ケアフォーラムや地域リハビリテーション推進研修、地域リハビリテーション推進モデル事業を実施した（H25～H29）。
→	神奈川県リハビリテーション支援センターが、平成21～22年の綾瀬市、平成23～24年の秦野市、平成25～26年の足柄上郡1市5町で行った一連のモデル事業の総括として6年間の事業報告書を作成した（H26）。
(2) 関係機関の連携	
→	神奈川県リハビリテーション協議会を開催し、地域リハビリテーションの現状及び課題、県及び関係団体の取組み、神奈川県地域リハビリテーション連携指針の改定等について議論した（H25～H28）。
→	平成29年9月に神奈川県地域リハビリテーション連携指針を改定した（H29）。
(3) 予防的リハビリテーションの推進	
→	介護予防従事者研修、リハビリテーション専門職等介護予防指導研修を実施し、介護予防に従事するリハビリテーション専門職の質の向上を図った。
→	市町村や介護保険事業所により、介護予防事業や要支援者に対する訪問リハビリテーションが実施された。

2 参考指標の推移

取組 区分	指標 区分	指標名	単位	神奈川県内					備考
				H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	

3 課題ごとの進捗状況の評価

(1) リハビリテーション人材の養成及び専門相談の実施

評価	(A) ・ B ・ C ・ D
評価分析	神奈川県リハビリテーション支援センターにより、地域リハビリテーションに関する情報の提供、専門相談、人材育成のための研修などが実施され、地域リハビリテーション体制の充実が図られた。
評価理由	地域リハビリテーションに係る人材養成や専門相談等の取組みを着実に推進しており、課題解決に向けて順調に進捗している。
第7次計画(H30～H35)での取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・「神奈川県地域リハビリテーション連携指針」に基づき、指定した「神奈川県リハビリテーション支援センター」において、地域のリハビリテーションに関する情報の提供、専門相談、人材育成のための研修などを実施し、適切なりハビリテーションの提供に向けた支援に取り組む。 ・人材育成のための研修などを実施し、適切なりハビリテーションの提供に向けた支援に取り組む。

(2) 関係機関の連携

評価	A ・ (B) ・ C ・ D
評価分析	神奈川県リハビリテーション協議会において、地域リハビリテーションの現状及び課題、県及び関係団体の取組み等の情報を多職種の関係団体の委員間で情報共有することができた。また神奈川県地域リハビリテーション連携指針を改定することができた。
評価理由	神奈川県リハビリテーション協議会において、関係機関における情報共有が図られており、連携指針の改定の議論の中で、地域リハビリテーションでの関係機関に期待される役割及び関係機関間での連携について、具体的にイメージを共有することができた。
第7次計画(H30～H35)での取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・「神奈川県地域リハビリテーション連携指針」に基づき、神奈川県リハビリテーション協議会において、保健・医療・福祉の連携を図り、地域においてそれぞれの状態に応じた適切なりハビリテーションサービスが円滑に提供されるように推進する。

(3) 予防的リハビリテーションの推進

評価	A ・ (B) ・ C ・ D
評価分析	<p>市町村の介護予防事業支援のために、介護予防従事者研修やリハビリテーション専門職等介護予防指導研修を実施し、活用できる人材を拡大した。</p> <p>また、市町村における介護予防事業の取組みを支援するとともに、事業所による要支援者に対する訪問リハビリテーションも着実に実施された。</p>
評価理由	地域における予防的リハビリテーションの取組みは定着しつつあり、比較的順調に進捗している。

第7次計画 (H30～H35) での取組の 方向性	P139 ・「介護予防の推進」として、介護予防の取組を進めること、地域においてリハビリテーション専門職、その他関係職種を活かした自立支援に資する取組を推進することとした。
------------------------------------	--

4 総合評価

評価	評価理由
B	リハビリテーションを取り巻く新たな環境の変化を踏まえた、リハビリテーション関係機関の連携体制が整備されつつあり、リハビリテーション人材養成や専門相談、予防的リハビリテーションの推進について、課題解決に向けて比較的順調に進捗している。